

福岡出入国在留管理局那覇支局

出入国在留管理行政に携わる職員は、全国で6358人（令和6年度末）います。

○入国審査官（一般職採用試験）

全国で3991人が空海港における出入国審査業務や在留審査業務等に従事しています。

○法務事務官（一般職試験採用）・法務技官

全国で691人が、一般事務を行う法務事務官や医師・看護師等の法務技官として勤務しています。

主な業務内容

➔ 出入（帰）国の管理

日本へ上陸しようとする外国人に対する入国の審査や出国時の確認及び日本人の出帰国の手続を行っています。

➔ 在留管理

日本に住んでいる外国人の在留管理を行っています。（在留資格の変更、在留期間の更新等の審査）

➔ 受入れ環境整備

外国人との共生社会の実現に向け、相談窓口の設置及び地方公共団体との連携・協力を図っています。

➔ 難民の認定

外国人から難民認定申請があった場合に、難民条約上の難民に該当するか否かを審査を行っています。

➔ 退去強制

不法残留や不法入国等を行う外国人を法令に基づき国外へ退去させる手続を行っています。

採用されたら

○法務事務官として一般事務に従事後、入国審査官へ昇任し、審査業務等に従事します。

○異動・勤務地

多様な業務に精通するため、那覇支局内の各部門等（総務課・審査部門・警備部門・那覇空港出張所・嘉手納出張所・宮古島出張所・石垣港出張所）を2～3年ごとに異動し、経験を積みます。
また、能力や希望によって全国の入管、中央官庁及び大使館等の在外公館での勤務も可能です。

採用状況（一般職）

【令和6年度】

14名（大卒程度7名・高卒者7名）

【令和5年度】

2名（大卒程度2名）

【令和4年度】

8名（大卒程度5名・高卒者3名）

先輩職員からのメッセージ

入管の仕事というと、「空港で入国審査をする人」というイメージを持つ人も多いのではないのでしょうか。確かに空港での入国審査も業務の一つとしてありますが、実際には多岐にわたる業務があります。

私は採用時、船舶を担当する部署に配属されました。空港と同様にクルーズ船やヨットなどで入国する方々にも入国審査があります。初めて入国審査をした時は、船舶と縁が無かった私にとっては新鮮な気持ちであったことを覚えています。

現在は部署を異動し、中長期にわたり日本に滞在することを希望する外国人の在留審査を行う業務に携わっています。こちらの業務は、入国審査に比べると長い時間を要する審査になりますが、その分申請人である外国人から話を聞く機会も多く、様々な国の背景を知ることができます。

入管は全国に官署があり在外公館での勤務も希望できるため、県外・海外での生活を希望する方にとっては大きなメリットとなるのではないのでしょうか。

皆さんと共に仕事ができる日を心待ちにしております。

C・Y R4年一般職（大卒程度）行政沖縄採用

勤務スケジュール （審査部門の例）

8:30 出勤
9:00 窓口業務
12:00 昼食
13:00 クルーズ船審査
16:00 那覇港から帰庁
17:15 退庁



福岡出入国在留管理局那覇支局 総務課総務係
〒900-0022 那覇市樋川1-15-15 ☎098-832-4185
🌐 <https://www.moj.go.jp/isa/index.html>

